

第 14 章 人と自然との触れ合いの活動の場

14-1 工事中	425
----------------	-----

第 14 章 人と自然との触れ合いの活動の場

14-1 工事中

(1) 概 要

工事中における事業予定地周辺の人と自然との触れ合いの活動の場への影響について検討を行った。

(2) 調 査

既存資料及び現地調査により、現況の把握を行った。

ア 既存資料による調査

(ア) 調査事項

- ・人と自然との触れ合いの活動の場の状況（位置、概要等）

(イ) 調査方法

人と自然との触れ合いの活動の場の状況（位置、概要等）に係る既存資料調査は、表 2-14-1 に示す方法により確認を行った。

表 2-14-1 既存資料調査の収集資料

調査項目	収集資料
人と自然との触れ合いの活動の場	・「第 3 回自然環境保全基礎調査（愛知県自然環境情報図）」（環境庁，平成元年） ・「都市景観重要建築物等指定物件」（名古屋市ウェブサイト） ・「名古屋市都市計画情報提供サービス（都市計画公園等）」（名古屋市ウェブサイト） ・「公園・緑地など」（名古屋市ウェブサイト） ・「港区のまちめぐり」（名古屋市ウェブサイト） ・「南区のまちめぐり」（名古屋市ウェブサイト） ・「名古屋港の緑地計画・海浜計画」（名古屋港管理組合ウェブサイト）

(ウ) 調査結果

調査地域における人と自然との触れ合いの活動の場の状況は、表 2-14-2 及び図 2-14-1 に示すとおりである。

表 2-14-2 人と自然との触れ合いの活動の場・屋外レクリエーション施設の分布状況

No.	名 称	概 要
1	大江川緑地	芝生広場、サイクリングコース、人工水路、池
2	大生公園	広場、スポーツレクリエーション広場
3	宝公園	広場、児童球戯場
4	宝生公園	広場、野球場
5	水袋公園	広場、児童球戯場
6	要公園	広場
7	千鳥公園	広場、児童球戯場
8	源兵衛公園	広場、児童球戯場
9	三吉公園	広場
10	元柴田公園	広場、児童球戯場
11	白水公園	広場、野球場
12	船見緑地	広場、野球場
13	滝春公園	広場

出典)「名古屋市都市計画情報提供サービス(都市計画公園等)」(名古屋市ウェブサイト)

「公園・緑地など」(名古屋市ウェブサイト)

「港区のまちめぐり」(名古屋市ウェブサイト)

「南区のまちめぐり」(名古屋市ウェブサイト)

「名古屋港の緑地計画・海浜計画」(名古屋港管理組合ウェブサイト)

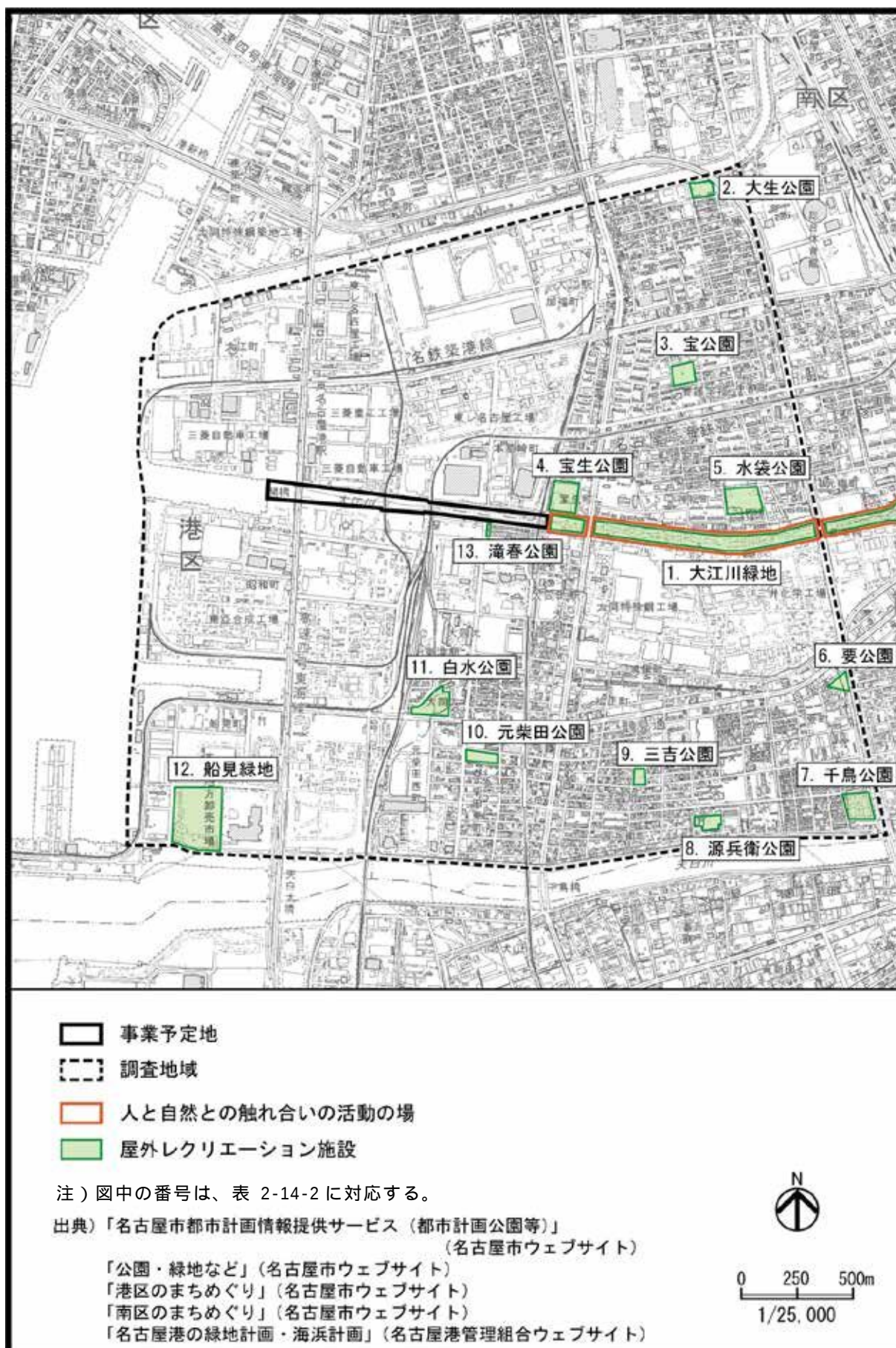


図 2-14-1 人と自然との触れ合いの活動の場・屋外レクリエーション施設の状況

イ 現地調査

(ア) 調査事項

人と自然との触れ合いの活動の場の状況（利用形態、植生等）

(イ) 調査方法

現地調査の調査方法は、表 2-14-3 に示すとおりである。

表 2-14-3 調査方法

調査項目	調査地点・頻度等	調査方法
周辺環境の状況	事業予定地に隣接する3箇所 （大江川緑地、宝生公園、滝春公園）	現地踏査により周辺環境の状況（自然環境特性、景観の状況等）について整理した。
利用状況	調査地点：8地点 大江川緑地内西側及び事業予定地の左右岸（図 2-14-2参照）	写真撮影、現地踏査により、利用人数を計測した。

(ウ) 調査場所

大江川の左右岸と事業予定地に隣接する大江川緑地、宝生公園、滝春公園とした（前掲図 2-14-1 参照）。

(イ) 調査期間

調査期間は、表 2-14-4 に示すとおりである。

表 2-14-4 調査期間

調査項目	調査期間
利用状況	令和 2 年 10 月 18 日(日)

(オ) 調査結果

a 周辺環境の状況

人と自然との触れ合いの活動の場（野外レクリエーション施設を含む）のうち周辺環境の状況として、事業予定地に隣接する 3 公園の自然環境特性や景観の状況等について把握した。

調査結果は、表 2-14-5 に示すとおりである。

表 2-14-5(1) 人と自然との触れ合いの活動の場の周辺環境の状況

大江川緑地		
住所	名古屋市南区大同町 1 丁目、大同町 3 丁目	 
交通	名鉄常滑線大同町駅より徒歩約 6 分	
利用期間	通年	
植生	緑地（植栽樹）	
景観の状況	眺望点はない	
主な施設	芝生広場、池・流れ、遊歩道、サイクリングロード、水飲み場、ベンチ、トイレ（複数）、四阿、遊具（ブランコ、鉄棒）	
実施区域との位置関係	大江川緑地は、西側を事業予定地に接し、緑地の下を暗渠で大江川が流れている。大江川緑地西端から大江川は明渠となり、大江川の左右岸へ連続している。	

表 2-14-5(2) 人と自然との触れ合いの活動の場の周辺環境の状況

宝生公園		
住所	南区宝生町 3 丁目	 
交通	大同町駅から徒歩 7 分	
利用期間	通年	
植生	緑の多い公園、グラウンド	
景観の状況	眺望点はない	
主な施設	野球場、芝生広場、水飲み場、ベンチ、トイレ、公衆電話、遊具（滑り台、ブランコ、シーソー）、四阿、駐車場（野球場利用者用）	
実施区域との位置関係	大江川緑地の北側に位置する。	

表 2-14-5(3) 人と自然との触れ合いの活動の場の周辺環境の状況

滝春公園		
住所	南区滝春町	
交通	大同町駅から徒歩 7 分	
利用期間	通年	
植生	芝地	
景観の状況	眺望点はない	
主な施設	芝生広場、ベンチ、水飲み、遊具（鉄棒、ブランコ、砂場）、四阿	
実施区域との位置関係	大江川（事業予定地）左岸に位置する。	

b 利用形態

大江川緑地西側及び大江川の左右岸について、図 2-14-2 に示す位置にて利用状況を確認した。調査結果は、表 2-14-6 及び表 2-14-7 に示すとおりである。

利用者数は大江川緑地が 880 人と最も多く、次いで大江川左岸が 222 人、大江川右岸が 72 人であった。利用目的はいずれも「通行（通過）」が最も多く、利用目的に占める「通行（通過）」の割合は、大江川左岸が 57%、大江川右岸が 53%、大江川緑地が 46%であった。その他では、「散策・ウォーキング」、「ジョギング」の利用者が多いが、大江川右岸と左岸では、「バードウォッチング」の利用者も確認された。時間帯では、いずれの場所も 9 時台の利用人数が多かった。

c 利用ルート

入場した場所における利用者数は、表 2-14-8 に示すとおりである。

大江川緑地について、東側のカルバートから緑地に入る人数が計 363 人と多く確認された。また大江川右岸道路と左岸道路ではいずれも東側（大江川緑地方向）からの入場が多く確認された。大江川緑地の利用者の一部は、緑地から大江川右岸道路または左岸道路を散策したのち、緑地の北側または南側から再びカルバートへ戻っていると考えられた。

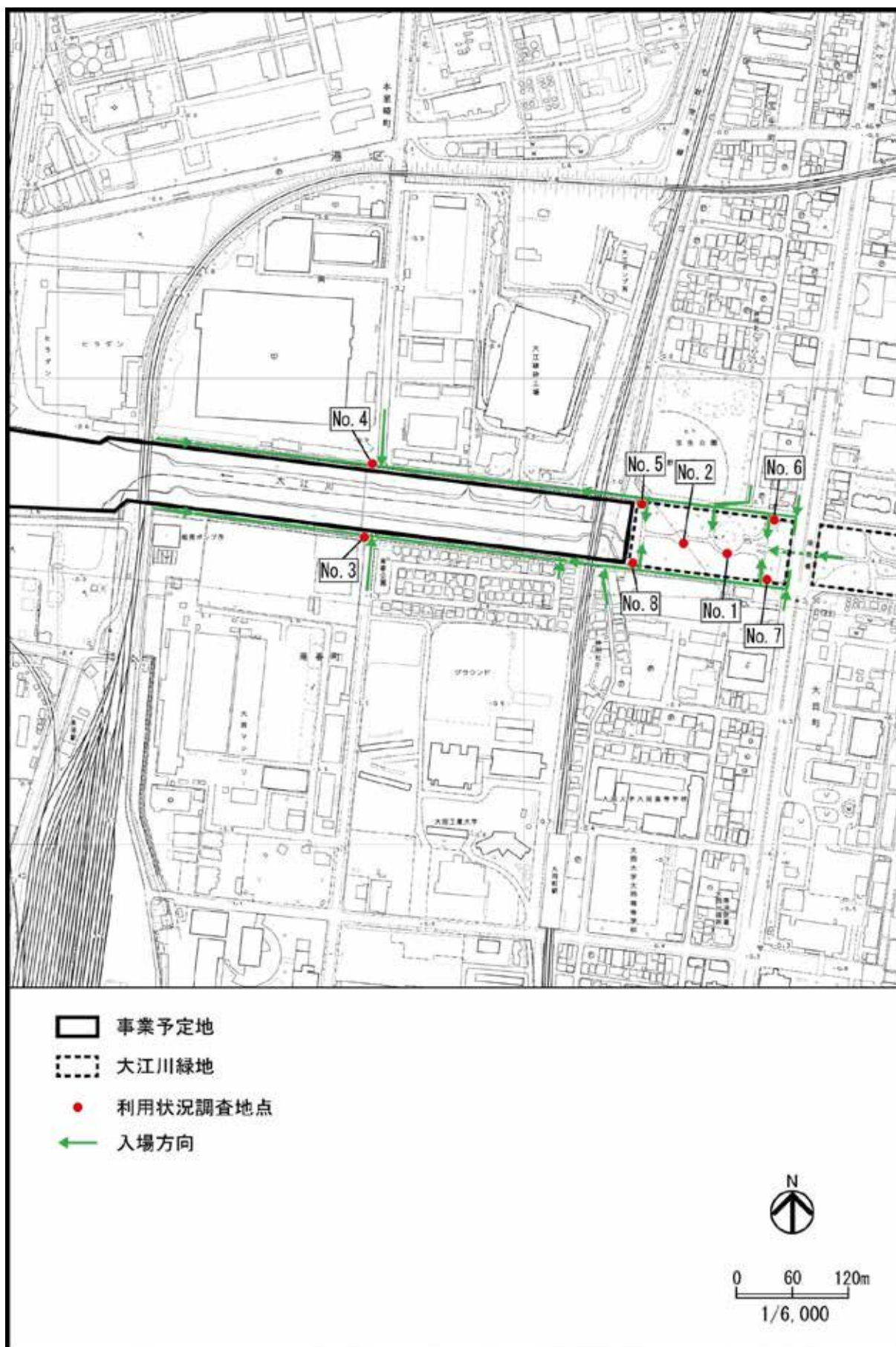


図 2-14-2 調査地点（利用状況）

表 2-14-6 人と自然との触れ合いの活動の場の利用状況

地点	利用者の目的	地点状況
大江川緑地	①散歩・ウォーキング 41% ②ジョギング 6% ③体操 (運動) 1% ④犬の散歩 (運動) 1% ⑤遊び、遊具利用 1% ⑥休憩 1% ⑦通行 (通過) 46% ⑧その他 3%	
大江川右岸	①散歩・ウォーキング 20% ②ジョギング 14% ③犬の散歩 8% ④バードウォッチング 1% ⑤通行 (通過) 53% ⑥その他 4%	
大江川左岸	①散歩・ウォーキング 29% ②ジョギング 9% ③体操 (運動) 1% ④犬の散歩 1% ⑤バードウォッチング 1% ⑥通行 (通過) 57% ⑦その他 2%	

表 2-14-7(1) 大江川緑地の利用状況

調査日：令和2年10月18日(日)

時間帯	利用目的									
	散策 ・ウォーキング	ジョギ ング	体操 (運動)	犬の 散歩	ハ・ド・ウ ツチン	遊び 遊具利用	休憩	通行 (通過)	その他	合計
5	20	1	1					5		27
6	38	4	2					10	1	55
7	36	11						35	1	83
8	40	7	2			1	2	25	3	80
9	66	6	1	2		1		37	1	114
10	33	7						38	1	79
11	17	1					4	44	2	68
12	7	3					4	37	3	54
13	13	3				2		33	3	54
14	24	2					3	44	4	77
15	22	2				3		37		64
16	33	3		2		3	1	31	4	77
17	10			5				33		48
合計	359	50	6	9	0	10	14	409	23	880

表 2-14-7(2) 大江川右岸の利用状況

調査日：令和2年10月18日(日)

時間帯	利用目的									
	散策 ・ウォーキング	ジョギ ング	体操 (運動)	犬の 散歩	ハ・ド・ウ ツチン	遊び 遊具利用	休憩	通行 (通過)	その他	合計
5										0
6	4	2						2		8
7								6		6
8	3							8		11
9		4		6				3		13
10	1							1		2
11								4		4
12	1							3		4
13								3		3
14	4	2						3	2	11
15		1			1			2		4
16	1							1	1	3
17		1						2		3
合計	14	10	0	6	1	0	0	38	3	72

表 2-14-7(3) 大江川左岸の利用状況

調査日：令和2年10月18日(日)

時間帯	利用目的									
	散策 ・ウォーキング	ジョギ ング	体操 (運動)	犬の 散歩	ハートウォ ッチング	遊び 遊具利用	休憩	通行 (通過)	その他	合計
5	3	1						2		6
6	3	4						4		11
7	5	1	1					5		12
8	9	3			1			6		19
9	6	4						17	5	32
10	6	2						11		19
11	6							17		23
12	1	1	1					13		16
13	2				1			13		16
14	3			1				15		19
15	6	2		1				7		16
16	14	1						5		20
17	1							12		13
合計	65	19	2	2	2	0	0	127	5	222

表 2-14-8 入場した場所の利用者数

時間帯	大江川緑地				右岸道路				左岸道路				
	東	北	南	計	北	西	東	計	南	西	東	南東	計
5	11	5	11	27					3		3		6
6	30	14	11	55	1	2	5	8	3	1	7		11
7	41	17	25	83			6	6	4	1	5	2	12
8	33	20	27	80	4	2	5	11	2	3	7	7	19
9	45	41	28	114	4	2	7	13	5	2	14	11	32
10	35	25	19	79	1		1	2	2	1	11	5	19
11	27	20	21	68	1		3	4	7		9	7	23
12	16	9	29	54	2		2	4	1	3	8	4	16
13	21	13	20	54	3			3	1	2	6	7	16
14	26	25	26	77	4	1	6	11	5	3	6	5	19
15	27	21	16	64	2		2	4	1		12	3	16
16	36	21	20	77			3	3	4	1	8	7	20
17	15	16	17	48	2		1	3	2	3	7	1	13
合計	363	247	270	880	24	7	41	72	40	20	103	59	222

ウ まとめ

人と自然との触れ合いの活動の場として、調査地域内には 13 の公園があり、事業予定地周辺には、大江川緑地、宝生公園、滝春公園が隣接している。このうち、事業予定地の東側に広がる大江川緑地は、大江川の上流側（約 1.8km）を埋立てた際、その地上空間に造成した緑地で、利用者数は事業予定地周辺で最も多い。現地調査で得られた利用者数は、秋季の休日 1 日で 880 名であり、事業予定地内の大江川左右岸道路（堤防天端）を散策等で利用する人も、この大江川緑地を起点・終点としている場合が多い。

(3) 予 測

ア 予測事項

水面の埋立て及び建設機械の稼働による人と自然との触れ合いの活動の場への影響

イ 予測対象時期

工事期間中

ウ 予測場所

事業予定地周辺

エ 予測方法

人と自然との触れ合いの活動の場について、工事計画より改変の程度を把握するとともに、建設機械の稼働による影響を大気質、騒音、振動の予測結果より定性的に予測した。

また、事業予定地内的大江川左右岸道路（堤防天端）についても、散策等の利用は水辺景観が存在するためとも考えられることから、水面の埋立て工事による影響を定性的に予測した。

オ 予測結果

(ア) 人と自然との触れ合いの活動の場の改変

事業予定地に隣接する大江川緑地、宝生公園及び滝春公園は、工事に伴う直接的な改変はない。

(イ) 人と自然との触れ合いの活動の場の変化

水面の埋立てによる粉じん、建設機械の稼働に伴う大気質、騒音及び振動の影響は表 2-14-9 に示すとおりであり、人と自然との触れ合い活動の場に対する影響は小さいと予測される。

表 2-14-9 人と自然との触れ合い活動の場に対する影響

環境要素	細区分	予測結果
大気質	水面の埋立て	降下ばいじん量は工事最盛期で $0.1\text{t}/\text{km}^2 \cdot \text{月}$ 以下
	建設機械の稼働	工事最盛期の二酸化窒素濃度は 0.004ppm 以下、浮遊粒子状物質は $0.0005\text{mg}/\text{m}^3$ 以下
騒音	建設作業騒音	工事最盛期で 60dB 程度
振動	建設作業振動	工事最盛期で 50dB 程度

(ウ) 事業予定地内の大江川左右岸道路（堤防天端）

工事期間中は、大江川の河川内で埋立てが施工されるため、水辺景観の質は低下する。また、埋立てが進むと、堤防より高い位置に盛土面が出現する時期があり（その後は堤防高まで自然沈下）、眺望景観の質も低下する。

しかしながら、大江川左右岸道路の利用者は、大江川緑地を起点・終点としている場合が多い。また、利用目的は「通行（通過）」が最も多く、水辺景観を求めて大江川左右岸道路（堤防天端）を訪れる人を「散策・ウォーキング」「ジョギング」「犬の散歩」「バードウォッチング」でみれば、調査を実施した休日で右岸が1日31名、左岸が1日88名で、工事が通常行われる平日でみれば、利用者数は休日より少なくなると考えられる。

利用者の多い大江川緑地は改変されないこと、人と自然との触れ合いを目的に大江川左右岸道路まで訪れる人は少ないと考えられることから、工事による影響は小さいものと予測される。

(4) 環境の保全のための措置

本事業の実施にあたっては、以下に示す環境の保全のための措置を講ずる。

- ・大きな音や振動を発生する建設機械が同時に多数稼働することのないような工事計画の策定に努める。
- ・建設機械については、原則として低騒音・低振動型や排出ガス対策型建設機械を使用する。
- ・排水の発生の低減に努めるとともに、発生した排水は適切に水質処理を行った後、放流する。
- ・工事関係車両の運転者に対し、適正な走行、アイドリングストップの遵守を指導、徹底する。
- ・工事関係車両が事業予定地周辺を走行する際、歩行者等に対する交通安全の確保に留意した工事計画の策定に努める。
- ・工事関係車両の運転者に対し、適正な走行の遵守を指導、徹底する。

(5) 評価

人と自然との触れ合いの活動の場は改変されず、水面の埋立て及び建設機械の稼働による影響も小さいと予測された。また、事業予定地内の大江川左右岸道路は、自然との触れ合いを目的として訪れる人は少ないと考えられること等から、工事による影響は小さいと予測された。これらのことから、人と自然との触れ合いの活動の場への影響は小さいと判断する。